

特定非営利活動法人
福山市身体障害者団体連合会

第15号

福山市身連通信

2014 (H. 26) 年11月

発行者 NPO法人 福山市身体障害者団体連合会
編集者 福山市身連 広報部市身連通信編集委員会
連絡先 電話 FAX 084-961-4733

目 次

広島県身体障害者福祉大会参加	1
社会福祉協議会 調印式・研修会	2
市身連 第4回理事会	3
市身連 臨時総会開催	3
市身連 第1回カラオケ大会&作品展	3
新聞によりますと・・・	4
広告御礼	4
行事参加者紹介	4
名簿訂正	4
ふれあい福祉まつり参加	5
十一月以降の行事紹介	6
賛助会員のご案内	6
編集委員会から	6

第五三回 広島県身体障害者福祉大会

日時 平成二十六年九月四日(木)
会場 江田島市農村環境改善センター

県内である大会への参加として

は本日に早朝出発となった今年の県大会は前日まで傘マークの天気予報で、雨が気になる日でしたがほとんど傘を使わなくてすむ天候で幸いでした。

当日高速は西条インター以西で事故の通行止めがありましたが、バスはその手前で高速を降り、呉へ向かい呉から倉橋へそして江田島へと、一般道がけっこう長い行程でしたが、早く出発した甲斐があり遅れることなく会場に到着し、JRで来られた大谷さんもすでに受付を済ませておられたので、予定の表彰者は受付が済みましたが、福山と書かれた席は三二席しかなく団体は表彰席、聴覚障害者席等に分かれ、資料も不足のようでしたがどうにか間に合わせた格好で

す。

会場はビッグロースのような平面の会場にパイプイスを並べた会場で県内から約六〇〇名の参加者を集めての開催で、福山からは五〇余名が大型バス一台で参加し、今年には知事表彰を三島茂氏が受賞し、会長表彰は連合会です七名の方が受賞されました。受賞された方々おめでとうございます。

大会への行政からや来賓の方も今年には代理が多く、地元の方のみ本人の挨拶があつて、第二部の議事に入りまして。例によって三名の議長団によって、各省への提出議案、大会宣言そして大会決議が原案通り採択され、議事は終了となり、ここで地元につながる陀峯太鼓を小学生と中学生一四名によってアトラクションとして演奏され

ました。

中学三年生を先頭に小学一年生までが、よく練習をした太鼓の演奏を聞かせてくれました。

その後、来年度の開催地となった三次市の会長の挨拶があり、前年開催の府中市の会長の音頭で万歳三唱で大会は終了しました。

福山の参加者は会場で受け取った弁当をバスのなかで食べながら今回観光として予約の取れた大和

受賞者の皆さん

県知事表彰(更生援護功労)

三島 茂 (新市)

県身連会長表彰(団体功労)

大谷 明巳 (難・中)

菅波 広敏 (神辺)

松岡 武男 (加茂)

同会長表彰(自立更生)

種本 益明 (福山)

平田 満 (松永)

松岡 正明 (ろうあ)

門田 敏子 (視覚)

以上八名の方おめでとうございます
(敬称略)

今大会のスローガン

●全ての人が互いに人格と個性を尊重し、共に支えあう共生社会を実現しよう

●障害の有無にかかわらず、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進しよう

●障害者の雇用の拡大に努め、社会参加を促進しよう

●全ての市町において、災害時要援護者名簿の作成と個別の具体的支援体制の構築を図ろう

ミュージアムへ向かいました。

館内は多少以前と展示がリニューアルされていましたが、ほとんどの人が初めてではなく、見学時間を約一時間短縮してバスに戻り帰路に着きました。そのままの早い時間に無事福山に帰り、今年度の福祉大会の参加はこれで終了です。

大規模災害における相互支援に関する協定調印式&研修会

岩沼市社会福祉協議会

福山市社会福祉協議会

日 時 2014年9月1日 14:00～

場 所 福山すこやかセンター1階多目的ホール



福山市社協は東日本大震災の津波で大きな被害を受けた岩沼市（宮城県）に支援に当たったことをきっかけに相互支援に関する協定を結ぶこととなりました。大震災の福山も芦田川と言う天井川を持つ

時、全国の社協が手分けして広島県は岩沼市を支援することになり福山も社協の職員を派遣するなど人的な支援から色々とお手伝いをして来て、その交流から災害時に相互支援をする協定を結ぶことになり、岩沼市社協の三浦一朗会長が福山を訪れ、福山市社協の北村仲夫会長と協定の調印式を行いました。

調印後岩沼社協の諏江主事の講演で防災研修会がありました。

福山は瀬戸内の大災害とは無縁の

ような町だと思われていますが、先般の広島市の土砂災害のように

福山も芦田川と言う天井川を持つ

町ですから、もし広島のような集中豪雨が福山地域に降って川を氾濫させれば市内中心部はほとんど

福山市身体障害者団体連合会

第4回（臨時）理事会開催

市身連は九月一二日臨時総会開催に向けての理事会を開催しました。

七月から事務所を人権センターに移転したことで、法人として

定めた定款の記載事項が変更となり、これは総会をもって決定となり県にその届出が必要で、そのため臨時総会を開くためです。

八月初めて新事務所連絡会をしました。役員以外に要約筆記や手話のボランティアの方の椅子が足りなかったため、その後機一とイス四脚を買い足し、数はどうにか間に合いましたが総勢三十名ほどに用具もありますので満員状態での開催となりました。

今回は提案すべき議案が、主たる事務所の住所移転の一点のみです。

問題となる事案はありませんでしたが、なぜか初めての理事会のように会議の段取りや、提出議案の内容に不備があったり、出席

されていた監事の注意を受ける有様で学習が足りなかったようです。理事会としての議事が終わり、総会の日に行う文化事業の打ち合わせ事項の確認をし、作品展に搬入の日時・方法やカラオケ大会のそれぞれの担当者、プログラムの作成等について文化部から考えてある案や方法が示されて、おおむね提案通り了承され、詳細は文化部で詰めていただくことで話がつきました。

文化部の方は今一度集まって準備をされる予定です。ご苦労様です。

福山市身体障害者団体連合会

臨時総会 開催

平成二十六年十月四日

年度半ばのこの時期ですが、市身連は定款変更の必要が出たため総会を開催しました。

十月四日事務所のある人権センターの三階の会議室を借りて、午前十一時から臨時総会を開催とし、事前の連絡で、今回の議事は一件のみと通知しており、本人出席は通常総会より少なかったようです。が、会員六十名中五十四名（本人三十二、代理委任二十二）の出席があり総会は成立となりました。

当日、理事長から臨時総会の説明や、今後の行事に関する挨拶の後、総会議事に入り議長に菅原理事を選出して、七月まで霞町の中央ビルにあった事務所を現在の事務所に移転したことを総会で議案として議決して、定款に連合会の

主たる事務所の住所を佐波町福山市人権交流センターに置くこと変更し、これを広島市の法務局へ届け出ることにあります。

総会議事はこの一件のみでしたが、先日の理事会同様会議のけじめが悪くどこで終わったかわからないまま、連絡事項の発言があったり、会費納入のことなどバタバタして総会を終わったことにし、十月十八・十九日に予定されているふれあい福祉まつりの相談コーナーの担当者を募って、各時間帯ほぼ4・5名の名前が出たところで、弁当タイムに入りました。

法人となつて二年目に入った今年、なぜか会議の進行が、しつくり行つてなく、役員は、このための学習会が必要かもしれません。

福山市身連文化事業部

第一回カラオケ大会&作品展

わずか一議案のための総会に、せっかく会員の皆さんに出席をしていただくのだから、何か市身連としての活動を合わせて行おうと文化担当の役員を中心に第一回のカラオケ大会と会員さんの日頃の趣味や特技を生かした作品の展



また作品展は前日までに搬入してもらい、一階の事務室を片付けてパネルなどを借りて作品を飾り付け、午前中から先ず作品を見て三階の会議室へ上がってもらう段取りで、油絵、ちぎり絵、木目込み人形、そして何点もの素敵な写真の出品がありました。

カラオケ大会は午後一時から始まり、二三名程の”のど”自慢の人たちがエンタリーして、根本理事の手馴れた司会に乗せられ、さすがと思われる喉を披露しました。皆さん甲乙つけがたい人ばかりでしたが、出演者同志いいと思う人二名を相互に選び結果五名の人々が賞に選ばれて前川理事長から賞品を受けました。

この企画のため、甲斐部長を初め根本理事、井上理事、石黒理事、事務局等準備のため何回も会議を重ね、大変ご苦労様でした。

示会を開催しました。

四日の総会が
終わってからの
午後三階の学
習室を借りてカ
ラオケ会場に、

「新聞」よりまよう」・・・

マッサージ支援

福山市視覚障害者福祉協会は福山市赤十字奉仕団の呼びかけに応じて、一般の広島市の土砂災害の避難場所となっている安佐南区の梅林小学校まで出かけ、災害で避難している人たちにマッサージをして長引く避難生活による疲れを癒してもらおうと、出かけられたそうです。

新聞によりますと、協会のマッサージの資格を持つ人七名とその介助者二名で参加し、体育館で寝起きしている避難者の方々に、マッサージをすることでも少しでも明るい気持ちになっていただきたいと支援することにしたそうです。

就労継続支援B型へ

NPO法人びんご聴覚障害者福祉協会は昨年の一月から、松永町に開設している聴覚障害者、特

に高齢者が孤立した生活に陥らないように交流スペース「すまいる・びんご」を運営していますが、この度この施設を「就労継続支援B型」の事業所として福山市から障害者支援法に基づく指定を受けることになった模様です。

新聞によりますと、同法人は交流スペースを設け手話のできる職員を常駐させ、この場所の利用者には一日八〇〇円の利用料で交流の場としていましたが、十月から県東部では初めて、B型の指定を受けることになりました。

法人ではこれから聴覚障害者の特に高齢者の楽しみに繋がる仕事を見出して、その事業所として運営して行くと言うお話です。

指定されれば利用者人数に応じて給付費、運営費が法人に入金されることになり、利用者負担はなくなり、場合によっては作業による工賃も支払われることになると思うお話でした。

御礼 広告主三社様

当紙、福山市身連通信は7月発行分で丸二年を迎えましたが、第二号から三社（四口分）のご協力を得て広告をいただき、その広告料をもって印刷代、編集経費に当てさせていただくことにより、会員の皆さんには購読料無しで配布することができております。スポンサーの三社様には感謝あるのみです。ありがとうございます。今後共ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

参加します

「全国障害者スポーツ大会」長崎で開催の今年の大会には連合会会員では「藤井正子さん」「村上孝江さん」（何れも福山協会）が選ばれて参加します。

「県身連ハワイ旅行」

県身連主催のハワイ研修旅行には福山市身連からは、「前川昭夫理事長」、「藤井貢事務局長」、「大村徳子会計補佐」が参加される予定です。土産話をきく会を設けたいですね。

福山市身体障がい者相談員名簿を訂正します

前14号でお知らせした、身体障がい者相談員の名簿のうち、市の名簿に違いがあると聞いて、名前の変換違いと思っていましたが、地区の人から違うと電話で指摘があり市の方に確認しましたが、本人の届出通りだと言われ、その電話にかけましたが本人はおられませんので、正しいと言われる番地、電話に変更します。名簿にご記載下さい。

誤					
	盛岡 猛	720-2412	加茂町大字下加茂179番地	972-2861	
正					
加茂	森岡 猛	720-2412	加茂町大字下加茂355番地1	972-8397	

健康ふくやま21フェスティバル2014 ふれあい福祉まつり

福山市身障団体連合会
福山市視覚障害者協会

障害者相談コーナー
マッサージコーナー

時 10月18～19日

所 緑町公園・ローズアリーナ



今年も夏以来、台風の連れてくる大雨によって各地で災害が起こり、秋になると発生のに今年最大と言う台風が日本列島にそって進み、九州から東北まで大雨による被害が続く、極め付きは御嶽山の水蒸気爆発の噴火で多数の方が亡くなる大変な年でしたが、題名のとおり、いろんな行事を一つにした福山の健康福祉まつりの十八・十九日は秋晴れの本日にさわやかな両日で、大勢の人で賑わいました。

外歩きには少し暑い日差しでしたが、いい天気にお互いに気を遣いながらの老夫婦とか、車イスでの参加者、子供たちを連れた親子さんなどが訪れ、広場のテント席などは満席のにぎわいでした。
福山市身障団体連合会は毎年障害者相談コーナーを設けて参加しており、ローズアリーナの入口近くの指定された場所に先日の総会後に決めた担当者を中心にコーナーに詰めて来場者を待ちました。福祉まつりと銘打っていますが、ポスターに



相談コーナーの記載はなく、相談員の顔見知りの来場者が訪れ、少々相談事をされる人が何人かあり、トイメンのように誰も来ない事はありませんでした。来年は相談より、活動紹介と会員勧誘のコーナーとしたいと思います。
外のテントでは視覚障害者協会が例年のマッサージと餅等の販売をされ、筆者が見たときは満席でマッサージをしており根本理事に繁盛ですというとサクラもおるよ、と面白く言われましたが、初日のもちは二時頃には完売でこちらは本当に繁盛だったようです。

十一月からの市身連関連行事

会費 千円

ゲーム代十

弁当・お茶

付き

ボウリング大会

バス送迎 駅北口九時三十分発

市身連スポーツ事業部主催

日時 十一月二五日(土) 一〇時

会場 コロナキャットボウル

(一文字町24-1)

＊法人活動の一つとしてスポーツ事業としてボウリング大会を開催。会員の親睦と健康のため多数の参加者があって、楽しい行事となることを願っています。

賛助会員のご案内とご寄付のお願い

私達福山市身体障害者団体連合会はNPO法人として認可されて、会員自身の会費のほかに、賛助会員制度を設け広くご入会を案内してご協力をお願いしております。

賛助会員(個人) 年会費 500円

賛助会員(団体) 年会費 1口 1000円

何口でもけっこうです

また、香典返し等のご寄付もお願いしておりご協力いただきますには、連合会加入の11の協会を通じてか、連合会事務局へご連絡をお願いいたします。

特定非営利活動法人

福山市身体障害者団体連合会

事務所 福山市佐波町262-3

福山市人権交流センター内

電話 084-961-4733

県身障相談員研修会

県身連相談員協議会主催

日時 十一月二五日(火)

会場 広島県健康福祉センター

(広島市南区皆実町)

交通 福山市相談員協議会で団体

バスで参加を計画中

＊広島県身障相談員協議会の研修会は今年度も県内全域の相談員を広島市一ヶ所に集めての研修になり、福山からも多数の参加を呼びかけております。

今年は大学の先生を講師に迎えて、実際の相談の対応・面接方法のなどを研修するような内容と思われまます。

編集委員会より

臨時総会を終えて、連合会は事務所移転によるいろいろの雑務のほとんどがすんで、これから落ち着いて例年の行事に当たることができます。

当面予定されている事はボウリング大会がすめば、相談員の人は

あいサポーターリーダー

広島県・県社会福祉会主催

日時 十二月八日(月)

会場 県福山庁舎第一二四二

(福山市三吉町一-二)

申込 二週間前締切

＊障害者の日常生活で困っていることなどを理解し、気軽に手助けをしてもらえるように、障害者以外の方達にも、何が困難かをわかってもらえるように研修をし、市町職員、サポート企業職員等にそのサポートリーダーになってもらう研修を行います。希望者の人は広島県社会福祉会へ申込みことになります。

広島で研修会が予定されています。

やらないといけない事案としては、ホームページの立ち上げがありますが、編集長は未経験です。で、事務局に全面委任のようになるかと思っています。

年末が近くなりますが、NPOの市身連としては忘年会をどのように対応することになるのか編集部はわかっていません。(M)